

# 「富加町第5次総合計画後期基本計画及び第2次総合戦略（案）」に寄せられた パブリックコメントの実施結果について

令和3年4月15日

富加町総務課

「富加町第5次総合計画後期基本計画及び第2次総合戦略」の策定にあたり、パブリックコメントを実施しました。実施結果と本町の考え方をまとめましたので、公表いたします。

貴重なご意見・ご提案をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

## 1 パブリックコメントの概要

案件名	富加町第5次総合計画後期基本計画及び第2次総合戦略（案）
意見募集の期間	令和3年2月19日から令和3年3月19日
資料の配布・閲覧場所	・町ホームページ ・総務課窓口

## 2 パブリックコメントの実施結果

意見提出者数及び意見数	2人 8件
提出方法	窓口2人

## 3 いただいたご意見の内容と町の考え方

ご意見の内容	町の考え方
SDGsについて 計画案では具体的説明が不足していると思います。多くの民間企業が独自の宣言を発出し、持続可能な開発目標の達成に尽力し、地域の課題解決を通じ、地方創生と持続可能な地域社会の実現を目指しています。自治体においては、岐阜県や近隣自治体では積極的な取り組み活動があります。「広報とみか」でも積極的に開示すべきではないでしょうか。	後期基本計画では、SDGsの17の開発目標のうち該当するテーマを、総合計画の6つの分野ごとに表記しました。経済・社会・環境をめぐる広範な課題の中で、自治体としてできることに取り組みます。
第2節魅力的な生活空間のあるまちづくり 4. 住宅・住環境 「空き地」「荒廃農地」への対策、抑制策の策定が急務である。住環境整備は人口増加施策にも関係してくる。	空き地の管理が適正に行われず、用途地域の住環境等に影響がある場合は、所有者等へのご理解をお願いし改善を図ります。

<p>第2節魅力的な生活空間のあるまちづくり</p> <p>5. 交通網</p> <p>既存町道の路面補修事業が遅れているのでは（多くの住民の声がある）</p>	<p>道路パトロールならびに調査結果に基づき、順次補修対応しています。</p>								
<p>第2節魅力的な生活空間のあるまちづくり</p> <p>5. 交通網</p> <p>町道稲荷北野線の整備促進は必ずしも地元住民に歓迎されていない。</p> <p>道路交通網のネットワーク化が図られるか疑問である。</p> <p>平成29年5月4日にルートなどの計画説明会があったが、その後の状況説明がないのは何故でしょうか。</p>	<p>道路ネットワーク化が図られ、地域の発展と交通安全に寄与する事業と考えております。今後は、地元住民の皆様にご理解ご協力を得られるよう状況説明等適宜実施し進めてまいります。</p>								
<p>第2節魅力的な生活空間のあるまちづくり</p> <p>5. 上下水道</p> <p>有収率についての意欲的な目標指標がある（令和7年度目標値94%）。漏水発生が多く、近年の有収率は低迷しているが、有効な施策があるのでしょうか。</p> <table border="1" data-bbox="97 1003 767 1104"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有収率(%)</td> <td>84.03</td> <td>84.53</td> <td>82.48</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H29年度	H30年度	令和元年度	有収率(%)	84.03	84.53	82.48	<p>漏水対策としては計画的な老朽配水管の更新工事と、継続した漏水調査を実施することで、有収率の向上に努めています。</p>
年度	H29年度	H30年度	令和元年度						
有収率(%)	84.03	84.53	82.48						
<p>第3節快適で安心安全なまちづくり</p> <p>2. 環境衛生</p> <p>・「ささゆり白書」によれば、令和元年度の可茂地区の1日1人あたりのごみ排出量は10市町村中3番目に多く、対前年比では4.93%増加している。</p> <p>・令和2年8月5日付けの「行政への質問」で原因と対策についての見解を求めましたが、回答になっていませんでした。</p> <p>・「広報とみか」では昨年12月号（産業環境課）、今年の1月号（福祉保健課）のTOPICS欄で食品ロスについて（家庭向）の啓発文書を発出されているがほぼ同じ内容であった。</p> <p>・可燃ごみについては、内容物の確認、検証等により削減の余地が充分あるのでは。（例 羽島市が全世帯へ生ごみ処理機を無償供与したとの新聞記事を目にした記憶があります）</p>	<p>・一人あたりの可燃ごみの年間排出量の目標を、令和7年度目標値で142kgとしました、これは当町の令和元年度実績と比較してマイナス9.6ポイントに設定し、ごみ減量化を目指します。</p> <p>引き続きごみの出し方の啓発や再資源化の推進等により減量に取り組みます。</p> <p>・食品ロスの広報については、今回の総合計画と関連しない事項であります。</p> <p>・ご提案いただいた内容は、総合計画の案の、主要な施策「(1) ごみ処理」④の詳細内容にかかる部分であり、計画の修正は行いません。</p>								
<p>第5節魅力と活力あるまちづくり</p> <p>1. 農林業</p> <p>農地は食料生産の基本となるもので、農地法は転用には規制をかけている。一方で、高齢化、相続発生等に</p>	<p>・現在のところ町での農地バンク構築は未定であるため、計画の修正は考えておりません。</p>								

<p>より営農が困難になり、遊休農地が増えているのも事実である。生産者と農地の減少に直面しながら、課題解決のため農地の流動化を図ることが必要であると考える。2009年に農地法が改正され、「貸借権」の取得範囲が拡大された。また同年に「農地利用集積円滑化事業」が開始された。</p> <p>2014年には、「農地中間管理機構(農地バンク)」が開始された。</p> <p>しかしながら、所有権移転には農業委員会の許可、転用には知事などの許可が必要であり、時間軸の長さや手続きの煩雑さが障害となっている。とは言っても地方自治体単体での対応は極めて困難であるが、空き家バンクだけでなく、農地バンク構想を持ち、JAとの連携による対応策を構築すべきである。</p>	<p>農地バンクの機能をもつ農地中間管理機構を活用して、農地の集積を推進します。</p>
<p>第5節魅力と活力あるまちづくり</p> <p>1. 農林業</p> <p>私は、平成28年度から5年間 国と県から補助金をいただいて町内の森林環境を整備してきた『半布里の郷』という団体の事務局をしています。</p> <p>役場の窓口に行っても補助金増額や支援をお願いしても、なかなか意見が聞き入れられません。そこでこの機会をお願いをしたいと思います。先日町から今後の10年を展望したマスタープランが発表されました。素晴らしいプランだと思います。しかし、その実現にむけての予算の見通しはあるのでしょうか。提案ですが、現在、半布里の郷では、年間200万円程度の補助金をいただいて富加町内の山林を中心にした環境整備を行っています。この予算を富加町が調達するために、企業版ふるさと納税で山林を所有する企業にお願いしてはどうでしょうか。</p> <p>地元と企業が一体となって地域が発展することは、両者が願っていることです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「半布里の里」につきましては地域の活動として、国費と県費を財源とした「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用して、夕田・大平賀・加治田地区において森林整備にご尽力をいただいております。</li> <li>・企業版ふるさと納税で寄附を募集することができる事業は富加町総合戦略に記載されている事業に限られているため、当該事業に対して企業版ふるさと納税を募集することはできません。</li> </ul>